

# 下水道公社だより



しずくちゃん

—下水道 きれいな水を 未来まで—



すいてきくん

2006年秋季号

## 目次

- 『快適生活 下水道フォーラム 2006』のご案内  
『下水道まつり』を終えて  
ポスターコンクール入賞作品紹介  
『平成 18 年度下水道排水設備工事責任技術者更新講習会』のご案内  
11 月 18 日は『土木の日』

## 『快適生活 下水道フォーラム 2006』のご案内

10 月 29 日(日)に福島県、福島県下水道公社の主催、矢吹町の共催により、矢吹町文化センターにて「水環境と下水道」～きれいな水を次世代へ～をテーマに『快適生活 下水道フォーラム 2006』を開催いたします。

記念講演として『走れコウタロー』『岬めぐり』のヒット曲で知られ、現在は地球環境問題に造詣が深いことから白鷗大教授として教鞭もとられる“山本コウタロー”さんによる「水を飲む、水を使う、そしてその水は何処へ」と題しての講演が行われます。

また、第二部「地域からのメッセージ」では、地域での環境保全活動を実践されている矢吹町“こうすっぺ西側イメージアップ作戦”の皆さんと、阿武隈川の水質・水生生物調査を行った白河市立白河第三小学校 5 年生の皆さんにそれぞれの体験発表を行っていただきます。そして、福島高専橋本孝一先生より身近な水環境を守る下水道の必要性、その役割の重要性についてお話いただきます。

皆様の多数のご来場をお待ちしております。



「水環境と下水道」～きれいな水を次世代へ～

快適生活 下水道フォーラム 2006

入場 無料

10月29日

矢吹町文化センター

主催 福島県、福島県下水道公社

13:00~15:45(開場12:30)

記念講演 山本コウタロー

地域からのメッセージ

TEL 024-536-7316

○日時 平成 18 年 10 月 29 日(日)  
13:00~15:45(開場 12:30)

○場所 矢吹町文化センター

○お問合せ 下水道フォーラム 2006  
運営事務局

TEL 024-536-7316

※同日に矢吹町町産業祭『あゆり祭』が会場周辺で開催されます。

## 『下水道まつり』を終えて

先月の9月10日の下水道の日を中心に開催いたしました『下水道まつり』には、各開催場所共に多くの方々にご来場いただき、盛況のうちに無事終了することが出来ました。開催にあたりましてご協力いただいた県、関係市町村及び関係団体の皆様に、紙面を借りて御礼申し上げます。

### 【県北浄化センター】

『伸ばそう下水道』をテーマに、一般の方々へ下水道についてご理解を深めていただくための県北浄化センター「下水道まつり」を9月10日（日）に開催いたしました。

当日は初夏を思わせる様な好天となり、日曜日ということもあり、ご家族連れを中心に昨年を上回る約6,200名の方にご来場いただきました。

会場では、下水道クイズラリーや微生物観察コーナーなどを通して“下水道”に触れていただき、流域各市町コーナーやステージイベント・マスのつかみ捕り・各種遊具などで、休日の一日を下水道施設の中で楽しく過ごしていただきました。

また、下水道ポスターコンクールには37校・729点と昨年を上回る多数のご応募をいただき、壁一面が作品で彩られました。



### 【県中浄化センター】

県中浄化センターでは、去る9月10日（日）、『環境と下水道』をテーマに下水道まつりを開催し、約4,200名のご来場をいただきました。

本年度は施設の増設工事が行われているため、ご来場者の安全確保の観点から直接処理施設をご覧いただくことは出来ませんでした。下水の浄化観察・下水道機器展示などの下水道体験コーナーや、“ウルトラマンと下水道クイズ大会”などのイベントを通して、ご来場の皆様に下水道の役割についてご理解を深めていただきました。

また、ものまね等のステージイベントや大型遊具はご家族連れで賑わいをみせ、休日のひと時を楽しくお過ごしいただけたものと思います。



### 【あだたら清流センター】

去る9月16日（土）、『水の廻流』～清流はぐくむ下水道～をテーマに、あだたら清流センター「下水道まつり」を開催いたしました。

開場時間の前からご家族連れなどが訪れ、約3,000名の方にご来場いただきました。ステージイベントや遊具コーナー等と共に、地域との連携を一つの目的として実施している、地域団体による手芸教室・グラウンドゴルフコーナーなどで賑わいを見せていました。

また、微生物観察コーナーでは観察した微生物を子供達がプリントアウトし持ち帰るなど、水処理のしくみに、より興味を持った様子でした。

来場者の方々には、各種イベントを通してあだたら清流センターをより身近に感じていただけたことと思います。



### 【大滝根水環境センター】

大滝根水環境センターでは、3度目となる「下水道まつり」を『くらしと下水道』をテーマに9月16日（土）に開催し、約2,100名のご来場者をしていただきました。

来場者の方々には、大滝根水環境センターの処理施設を巡るスタンプラリーへの参加やミニバックホウの運転体験、水質浄化観察コーナーなどの“下水道ふれあいコーナー”などで、楽しみながら下水道施設へのご理解、下水道事業へのご関心を深めていただきました。

またステージではライブコンサートなどで、下水道まつりを盛り上げ、盛んな拍手や歓声が響き渡りました。



## ポスターコンクール入賞作品紹介

下水道まつりにあわせて募集いたしました“下水道ポスターコンクール”の入賞作品をご紹介します。多数のご応募ありがとうございました。

理事長賞（県北）



福島市立三河台小学校  
2年 吉田京花さん

理事長賞（県中）



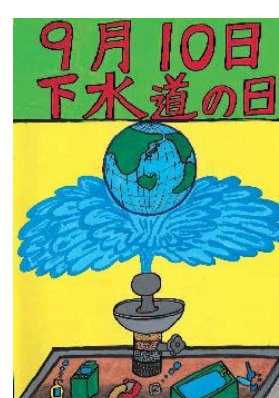
郡山市立薫小学校  
6年 柳沼亮気さん

理事長賞（あだたら）



二本松市立二本松北小学校  
6年 本田瑤子さん

理事長賞（大滝根）



田村市立瀬川小学校  
6年 村越俊貴さん

## 『平成18年度下水道排水設備工事責任技術者更新講習会』のご案内

（財）福島県下水道公社認定による下水道排水設備工事責任技術者登録の有効期間は5年間であるため、登録期間満了後も引き続き登録を受けるときは、技能・技術の維持及び最新技術の習得等を目的とする更新講習を受講し、登録の更新を受けなければなりません。

今回の更新対象者は、平成13年度の認定試験合格者及び同年度の更新講習を受講した更新登録者1,057名の責任技術者が対象となります。（責任技術者証の登録番号が13-〇〇〇〇）

なお、平成18年度の更新講習会は、下記により開催する予定です。

### 1. 申し込み方法

更新対象の方へ、11月下旬に当公社から「更新講習会受講申込書」及び「責任技術者登録申請書(更新)」を直接送付します。



### 2. 受付期間

12月1日(金)から12月28日(木)（消印有効）まで、「受講申込書」及び「登録申請書(更新)」に必要事項を記入して、当公社へ提出してください。

なお、この期間を過ぎると原則として受講不可となり、従って更新登録をすることができなくなり、資格が失効することとなりますのでご注意ください。

### 3. 開催日程

年 月 日	対象方部	場 所
平成 19 年 2 月 6 日 (火)	県中・県南	郡山市・ビッグパレットふくしま
平成 19 年 2 月 15 日 (木)	会 津	会津若松市・会津アピオ
平成 19 年 2 月 20 日 (火)	県 北	二本松市・パレスかねすい
平成 19 年 2 月 23 日 (金)	浜通り	富岡町・富岡町文化交流センター
平成 19 年 2 月 28 日 (水)	県中・県南	郡山市・ビッグパレットふくしま

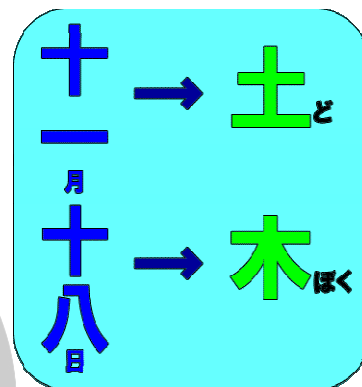
## 11月18日は「土木の日」

「土木の日」は広く国民の皆様に土木技術や土木事業に対するご理解を深めていただくため、昭和 62 年に土木学会、日本土木工業協会などが提唱したものです。

この日は、土木学会の前身にあたる工学会（現：日本工学会）の創立日（明治 12 年 11 月 18 日）であり、「土木」が「土=十一」、「木=十八」になることからこの日と定められました。

また、この日より土木学会が日本工学会から独立した大正 3 年 11 月 24 日の“11 月 24 日”までを『くらしと土木の週間』と定めています。

ところで、なぜ「土木」と言うのでしょうか？語源を調べてみると、中国漢代の書、「淮南子」汎論訓の一節にある言葉（下記赤部分）が語源と言われています。



古者民澤處復穴 冬日則不勝霜雪霧露 夏日則不勝暑熱蚊虻  
**聖人乃作為之築土構木** 以為室屋 上棟下宇  
 以蔽風雨 以避寒暑 而百姓安之



「イメージが良くない」と敬遠されがちですが、紀元前 150 年頃に書かれた書物に記述がある『土木』という言葉、見直してみてもいかがでしょうか。

### 財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103 福島市舟場町 2 番 1 号 福島県庁舟場町分館 3 F

TEL 024-524-3510 (代)

FAX 024-524-3513

Homepage: <http://www.fspc.or.jp>

E-mail: [kikakukanri@fspc.or.jp](mailto:kikakukanri@fspc.or.jp)

※本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。